

教育研究審議会議事録		
開催日時 及び場所	令和4年12月22日(木) 午後2時00分から午後3時03分まで 特別会議室 Web (ZOOM) 会議同時実施	
出欠状況	出席:25名 欠席:0名	出席：尾池議長、今井委員、酒井敏委員、富沢委員、渡邊委員、 小林委員、増井委員、花岡委員、酒井公夫委員、 賀川委員、三浦委員、寺尾委員、湯瀬委員、太田委員、 石川委員、熊澤委員、湖中委員、八木委員、山田委員、 永倉委員、轟木委員、仲井委員、山本委員、林委員、 藤森委員
<p>1 審議事項</p> <p>(1) マヒドン大学 (タイ) との大学間交流協定の更新について</p> <p>(2) 静岡県立大学大学院学則の一部改正について</p> <p>(3) 静岡県立大学短期大学部教員・教員組織の編制に係る基本方針等の策定について</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 静岡県立大学教員活動評価学長表彰について</p> <p>(2) 令和5年度 静岡県立大学年間授業予定表について</p> <p>(3) 令和4年度 卒業証明書等の日付について</p> <p>①静岡県立大学 ②静岡県立大学短期大学部</p> <p>(4) 令和4年度 利益相反委員会の審議概要の報告について</p> <p>3 学部・研究科等における取組報告について</p> <p>①短期大学部 ②健康支援センター (草薙キャンパス)</p> <p>③健康支援センター (小鹿キャンパス)</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 学外委員からの意見</p>		

・前回議事録(案)の確認

令和4年11月の教育研究審議会議事録(案)について、承認された。

1 審議事項

(1) マヒドン大学 (タイ) との大学間交流協定の更新について

2011年に締結した「マヒドン大学 (タイ)」との大学間交流協定について、両大学ともに更新の意思があることが確認されたため、本協定を更新し、更なる交流の促進を目指したい。

同大学との交流は、薬食生命科学総合学府における研究者の相互派遣等を中心に継続しており、直近では本学看護学部のCOILをはじめとしたオンライン教育等の分野において、新たな交流を切り開くといった試みが行われている。

本協定書の更新案は資料のとおり。主な協定事項は記載のとおりで、前回の協定から条件・内容の変更はない。

審議事項 (1) について提案のとおり承認された。

(2) 静岡県立大学大学院学則の一部改正について

静岡県立大学大学院 薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻では、「臨床栄養エ

キスパート演習」という科目を選択科目として設けている。本科目は管理栄養士資格を有した博士後期課程の大学院生を対象とし、海外において2週間「臨床栄養実践指導」を行うという内容で、平成19年度に開講した科目である。

しかしながら、管理栄養士資格を有した大学院生で博士後期課程に進学する者が少なくなったことに加え、当初は「21世紀COEプログラム及びグローバルCOEプログラム」の財源で運営していたが、その財源がなくなり本科目の運用が難しいという点から、本科目を廃止するというもの。それに伴い一部改正として、静岡県立大学大学院学則に記載の選択科目「臨床栄養エキスパート演習」を削除する。

審議事項（2）について提案のとおり承認された。

(3) 静岡県立大学短期大学部教員・教員組織の編制に係る基本方針等の策定について  
平成28年度の大学基準協会の認証評価の結果を受け、「基準3 教員・教員組織」において、「各学科の教員組織の編制方針に関して明文化されたものがないため、教職員での共有が課題となっている。」という指摘があった。

指摘を受け、令和元年度に実施した自己点検・自己評価報告書では、「「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「アドミッション・ポリシー」の3つのポリシーを継続して実現できるよう、教員組織の編制方針の明文化に向けて検討する。」と記載した。

今後は令和5年度に実施する認証評価において、「基準6 教員・教員組織における評価の視点」に求める教員像や各学科等の教員組織の編制に関する方針の明示が設定されていることから、本方針等の策定に至った。

趣旨は記載のとおり。本方針等策定後は、教職員間で共有するとともに学外に対しても表明する。

方針案の1つ目に「基本姿勢」、2つ目は「求める教員像」を定めている。3つ目は具体的な「静岡県立大学短期大学部教員組織の編制に関する方針」を明示している。詳細は記載のとおり。

今後の予定は、本教育研究審議会で承認された後、短期大学部の教職員へ周知及びホームページにより公表する。

審議事項（3）について提案のとおり承認された。

## 2 報告事項

(1) 静岡県立大学教員活動評価学長表彰について

令和3年度 教員活動実績評価において、優秀な成績を収めた教員に対して学部長等の推薦に基づき、令和4年12月19日に学長表彰を行ったので報告する。

受賞者の決定方法は、平成28年2月に制定された「静岡県立大学教員活動評価表彰要領」に基づいて決定しており、教員活動評価規程では「総合評価の結果が特に高い教員の中から、学部長等の推薦に基づいて学長が決定する。」ということになっている。今年度受賞された方は記載の13名である。

(2) 令和5年度 静岡県立大学年間授業予定表について

令和5年度の開学記念日は4月20日（木）としており、それに伴い前期は変則の日程が1日あるので御注意いただきたい。

その他の主なイベントは、オープンキャンパスや剣祭を予定している。

後期は、剣祭や入試により変則日程が多くなるので、学生室から連絡があると思うが、日程には注意して講義等を実施していただきたい。

### (3) 令和4年度 卒業証明書等の日付について

#### ① 静岡県立大学

令和4年度の学位記授与式は令和5年3月17日(金)に開催予定であるが、国家試験などの資格取得に伴い、各学部・研究科の卒業証明書等の日付を個別に設定する必要がある。設定する日付と設定理由は記載のとおり。

詳細内容は参考表のとおりであるが、「食品栄養科学部 栄養生命科学科」については、厚生労働省へ提出する前に卒業証明書を自治体(静岡県)に提出し、自治体から「栄養士免許取得見込証明書」を交付してもらう必要がある。学生は「栄養士免許取得見込証明書」を受理した後に大学事務局へ同証明書を提出し、事務局で作成した「栄養士免許取得(見込)照合書」を厚生労働省に提出しなければならない。そのため、日付は他学部と比較し早期にしている。

#### ② 静岡県立大学短期大学部

短期大学部については、4つの資格について卒業証明書の日付を設定する。

短期大学部では毎年3月1日に卒業判定の教授会を行っているため、今年度も3月1日を卒業判定日とする。詳細は表のとおり。

特に配慮すべき事情がない場合には、今後も3月1日を卒業日としていきたいと考えている。

### (4) 令和4年度 利益相反委員会の審議概要の報告について

令和4年10月27日に利益相反委員会を開催し、利益相反マネジメント規程に基づき教職員から提出された「利益相反自己申告書」の審議を行ったので、その概要を報告する。

今年度の申告書の提出率は比較的高い値を維持しており、問題はないものと判断する。外部資金などを獲得している教員については全員、利益相反に関する一次申告書の提出を確認した。そのうち、二次申告書の対象になる教員についても全員の申告書の提出を確認し、問題ないことを確認した。

委員会審議概要の中の定期申告について、令和3年度中に共同研究契約があるなど、産学連携活動を行ったことを事務局で確認した教員からは全て申告があり、一次申告、二次申告の提出者全員の不適切な利益相反状況がないことを確認した。

外部委員のAK法律事務所の笠原弁護士からは、「基本的に産学連携は推進されるべきものであり、大きな額の案件や数多くのプロジェクトを遂行していることは、すばらしいことである。」とコメントをいただいた。一方で、私企業の利益追求が大学の使命とは異なる点で、「大学側が私企業の下請けにならないことが重要である。」というコメントもいただいた。

### 3 学部・研究科等における取組報告について

#### ① 短期大学部

志願者及び入学者並びに卒業生の現状については表のとおり。本学は、3学科2専攻の対人職が多い学部であるため、それを目指して受験してくる学生が大半である。令和4年度の入学者選抜状況に関しては多少の増減はあるものの例年どおり。介護福祉専攻は募集人員50名に対し、入学者21名ということで減少している。一方で卒業生について見ると、介護福祉専攻の内定率は100%で、志高く学んでいることが分かる。その他の学科についても高い内定率が維持できている。

次に国家試験の合格率は、歯科衛生士、介護福祉士ともに全国平均を上回っており、歯科衛生士については6年間、介護福祉士については3年間連続で合格率100%を達成している。

続いて、本学のHPS(ホスピタリティ・プレイ・スペシャリスト)の養成について、平成19年に文部科学省の「社会人学び直しニーズ対応教育推進事業委託」として、主に看護師、保育士などの資格を持って実務経験を有しながらも離退職をした者を対象としたHPSの養成講座を開始し、継続してきた。「離退職をした者」をメインの対象としているが、実際にはHPSの養成講座の中に週末講座があり、週末を利用し長期にわたり研修を行っている方もいる。受講者は、北海道から沖縄まで全国に広がっており、令和3年度末時点で215名のHPSを養成している。修了者には学校教育法に基づく「履修証明書」及び「本学規程に基づく資格認定書」を交付している。

「ウイズコロナ」の取組について、「学生主体の活動の充実」、「感染症対策を講じながらの開学記念行事、スポーツ大会、橘花祭の開催」、「小鹿キャンパス防災訓練」、「韓国の大邱保健大学校との交流事業」などを行ってきた。大邱保健大学校とは、平成26年3月に大学間交流覚書を締結し、平成31年2月に更新した。新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、令和2年度以降は相互派遣を休止してきたが、その間はウェブを活用し、教員間又は学生間の交流を継続してきた。先方からは相互派遣交流の復活派遣要望が出ているので、今後も感染症のまん延状況に注視しながら、早期再開に向けた検討を始めたいと考えている。その他の取組としては、「県短わくわくツアー(県民の日事業)の開催」、「公開講座のオンライン開催」、「オープンキャンパス実施」があった。その他は記載のとおり。

最後に、短期大学部の課題及び対応について、1つ目は「短期大学部の将来構想について」、これまで短期大学を取り巻く社会環境の変化、全国の短期大学の動向、県内の関係大学や短期大学、専門学校への入学定員、授業料等の状況などについて情報収集を行うとともに、高校へのアンケート調査を実施するなど、基本データの集約分析を進めた。より高度で専門的な技術や知識、対応力を持つ人材を求められている現状に対応するため、令和3年度から短期大学部内でプロジェクトチームを立ち上げ、新学部の設置について検討してきた。今年度からは全学的な協力体制を構築するため、令和4年11月1日付けで、「新学部設置構想検討委員会」を新設し、全学的な課題の解決に当たっている。2つ目は「入学志願者の確保」について、18歳人口の減少や受験生の年内入試への関心の高まりなどの様々な変化を受け、令和5年度の入試選抜からは年内入試の募集人員を増やした。志願者の確保に日々努めているが、対人職に就く専門家を育てるという本学の入学にふさわしい志の高い学生をいかにして誘うかについては、短期大学部全体の今後の課題である。

## ② 健康支援センター(草薙キャンパス)(山田健康支援センター長)

草薙キャンパスでは健康支援センター長、副センター長の他に、実務に関しては部屋が4つに分かれ、看護師が医務室に1名、健康増進室に2名がそれぞれ在籍している。相談員(カウンセラー)は公認心理士の資格を持っている。障害学生支援室については、コーディネーターが1名在籍している。

新型コロナウイルス感染症に関しては、他の部局と同様に、学内における注意喚起等を行っている。また健康支援センターにおいては、感染者及び濃厚接触者に対する保健指導を行っており、最近はコロナ罹患者が増えていることから、看護師の負担増になっている。

健康支援センターの沿革は記載のとおり。組織として継ぎ接ぎ的に作られていることで各室は分離しており、それぞれが有機的に活動するにおいては不便さが生じている。

本年の活動について、「フィジカルヘルス」に関しての大きなイベントは、学生の健康診断である。四大学・大学院全体の受診率は90.9%であった。コロナ禍での3年間の受診率は若干落ちているが、90%以上を維持できている。有所見者に関しては、

保健指導を行っている。

続いて「メンタルヘルス」の取組について、昨今は精神発達障害の学生が非常に増えている。内容も複雑化しており対応に当たっているが、相談員の人手不足により万全とは言えず、非常事態の場合には対応できないという状況が生じている。そのような中で、最近ではワークショップとして「Social Skills Trainings」、「描画療法」、「音楽療法」、「セクシャルマイノリティーに関する座談会」などを積極的に行っている。

障害学生支援室では、これまでは「視覚障害」「聴覚障害」のようなフィジカルな障害だけを対象としていたが、徐々に「精神発達障害」の合理的配慮を要求する学生も増えており、同様に手が回らなくなっている状況がある。

「健康教育」に関しては講演会の開催や救命体験コースとして、教職員を対象にAEDの操作方法、胸骨圧迫などを指導している。障害学生支援の講演会については今年開催した。その他取組については資料に記載のとおり。力を入れている点として、今年は特にホームページの充実を図り、健康支援センターのホームページが非常に中身の濃いものとなっているので、皆様に御覧いただきたい。

教職員に関しての健康管理活動も行っており、「ストレスチェック」として、過重労働でストレスチェックが高レベルの方に対し、産業医面談等を行っている。健康支援センターだけではなかなか健康保持・増進は図れないので、学生室、総務室、キャリア支援室と連携し、業務を行っている。

最後に今後の課題について、施設の老朽化がかなり進んでおり、特に医務室の改善が直近の課題となる。その他では「エアコンの空調設備」、「有期雇用職員採用」による人手不足の解消をお願いしたい。大学として「学生及び教職員の健康は自分達で守る」を念頭に、設備の充実及び人員の確保を図っていただければと思う。

#### <意見>

- ・草薙キャンパスの健康支援センターにおいて、「障害学生支援」に記載の「その他の障害」という項目について、具体的にどのような障害なのか。担当教員はできる限り、どのような対応が必要なのかを知っておく必要があり、具体的な内容（証明）を書くことはできないか。（委員）

- ・本項目はJASSOに基づいており、「その他の障害」で分類されるものは、そのように記載している。「精神発達障害・発達障害」によって授業に出られない場合には、「発達障害」「精神障害」に分類されるが、例えば「過敏性胃腸炎」のような項目以外の疾患があり、補助が必要になる場合は「その他の障害」に含まれる。

（健康支援センター長）

- ・「関係する教員は御存知か」という点についてはどうか。（議長）

- ・障害学生支援の場合には、合理的配慮は必ず関係する教員につながるようになっている。一方で個人情報であるため、具体的内容を伝えたくないという学生については、曖昧な症状（内容）しか伝わらない。（健康支援センター長）

- ・小鹿キャンパスではどうか。（議長）

- ・小鹿キャンパスは、対象者数が少ないので問題となっていない。

（健康支援センター分所長）

#### ③ 健康支援センター（小鹿キャンパス）

小鹿キャンパスでは専任の医者1名、専任の看護師1名、その他兼任のスタッフで進めている状況。

取組内容も例年どおりで、健康診断等の分析及びワクチン接種の推奨、新型コロナウイルス感染者及び濃厚接触者の休学と体調管理、復学の際の体調チェックを行

っている。

その他職員のメンタルヘルスについては最近特に力を入れており、「ストレスチェック」を利用して状況を把握し、必要な場合には面談等を行っている。学生に関してのメンタルヘルスについても、相談員の方と協力して対応している。

障害学生支援に関しては短期大学部では少なかったが、最近では徐々に増えてきているので、同様に対応している。

#### 4 その他

##### (1) 学外委員からの意見

・本日の日本経済新聞「静岡版」に記載があった、「清水駅東側（海側）のENEOS社有地に、メガソーラー及び大型水素ステーションを作る」という計画について、現実的なものになってきている。

エネルギーをどのように使うかという点について、新聞には例えば「マリナート」、「旧桜ヶ丘病院（移転後の清水さくら病院）」の周辺施設で使用するとあった。水素については「静岡鉄道のバスに回す」などの表現があったが、正式に決まったわけではない。今後フィージビリティ・スタディを行っていく話ではあるが、今までの運輸業は「人を運ぶことが仕事」で終わりだったが、「社会的なインフラとしても使用できる部分があるのではないか」ということで模索している。

その一環として、先月11月に静岡市内の電車とバスを土曜日1日無料にするイベントを実施し、「自家用車により町中に出ることと、公共交通機関を使い、自らCO<sub>2</sub>の排出削減につなげる行動と、どちらを選ぶでしょうか」ということで、「クールチョイス」という名称で、公共交通を見直していただく実験を行った。

参加していただいた方にアンケートをとり、今後の変化について継続的に見ていきたいと思っている。数値的報告として、鉄道利用者は通常の3倍以上であった。

(学外委員)

・短期大学部の報告について、「橘花祭」が3年ぶりの開催ということで、大変結構だと思う。(学外委員)

・展示や模擬店など、コロナ感染が若干心配になると思うが、何か感染防止に関する特別な試みがあれば御紹介いただきたい。毎年4月に研究所の一般公開を実施しており、来年はどのような形で行うかを模索しているところなので、参考にさせていただければと思う。(学外委員)

・マスク着用や消毒はもちろんのこと、今年に限っては飲食の場所を限定し、食べ歩きはしないよう、決められた場所で、決められた食べ方で飲食するようにした。また、展示場所に入る際も入室制限を行い、教室の授業同様に密にならないように配慮した。(委員)

・今年は草薙キャンパスでもリアルな形で剣祭などを開催したが、草薙キャンパスはどうか。(議長)

・草薙キャンパスでは入場制限ではないが、入場者のチェックは厳しく行った。入口を1か所で管理し、誰が入場したかを把握できるようにした。その他では面白い取組として、紙製で学生がリストバンドを作ったところ、かなり好評で、お祭り気分で盛り上がった様子であった。(委員)

・大変参考になった。(学外委員)